

第6回朝日自然塾

H23. 2. 26

かんじきトレッキングで親雪体験・囲炉裏で マタギの話を聞こう！を実施しました

第6回朝日自然塾「かんじきトレッキングで親雪体験・囲炉裏でマタギの話を聞こう！」を、2月26日（土）西川町大井沢のセミナーハウスと舎那山で行いました。

連日雪マークの天気予報に開催を心配しましたが、山形市・寒河江市・山辺町から19名の参加者がありました。

朝の集合時間頃は曇り空、時折雲の隙間から太陽の光が差し込み、朝方まで降った新雪が純白の景色をつくり、良いコンディションに恵まれました。

ほとんどの参加者が「かんじき」は初めてということもあって、スタッフから「かんじき」の履き方を教わり、最初はずまずいて転んでしまうこともありましたが、すぐに慣れて新雪の山に登っていきま

した。ちょうど汗ばむ頃に舎那山の頂上に到着！。大井沢の集落がきれいに見えました。

ちょっと休憩を取り記念撮影後出発。今朝方まで新雪が降ったため、動物達は隠れて足跡は発見できず残念でしたが、まもなく熊棚を発見！。初めて見たクマ棚や、クマが登った生々しい爪痕に子供達は自分の手を当てて興味津々。

大井沢マタギの前田さんの説明に熱心に耳を傾けていました。

途中では、ウサギが食事をした跡を見つけ、まるでカッターナイフで切ったような食痕に「へえ～ウサギの歯ってすごいんだ！」と感心しながら熱心に観察し、写真写真に納めていました。

帰り際の急斜面では、おもいっきりジャンピングスライドを決める子供達に誘われて、お父さん



雪の斜面を元気に登る



カンジキの履き方を教わる



セミナーハウスから出発

お母さん達も童心にかえって夢中で滑り降り、全員元気にセミナーハウスに到着しました。

お昼は、大井沢のスタッフが準備してくれた「引き摺りうどん」で舌鼓。サバ缶・納豆・ネギ・七味唐辛子のコラボに皆の舌も満足。次々おかわりで、大きな鍋のうどんもたちまちきれいに完食となりました。

午後は、大井沢マタギの前田さんと先達(※)の松田さんから、クマ狩りの話。パワーポイントの映像を使った生々しい話と、実体験からの迫力ある話に、参加者はくいているように聞き入っていました。

(※先達=せんだつ・さきだち、巻き狩りにおいて、全体を指揮する人)

第6回自然塾では、一見何もなさそうな雪山で動物たちがたくましく生きている事や、厳しい自然の中で永々と続いてきた山(森)とそこに住む人々とのかかわりを学びました。また、どんなところでも道具やおもちゃがなくても、すぐに身体を思い切り使って楽しい遊びをする子供達に、お父さんお母さん達の目も輝きました。

今回は、西川町大井沢区・山形県猟友会・大井沢自然博物館の皆さんに、講師・スタッフとして大変ご協力を頂きました。



初めて見たクマ棚



クマが登った爪痕にびっくり



ウサギの食痕をデジカメに



急斜面でジャンプ・スライディング



アツアツの引き摺りうどん



クマの敷皮



大井沢マタギの話



舎那山頂上で記念撮影
朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター